

仕掛け人その

「空き家」活用で定住促進

口和自治振興区 地域マネージャー

つみやまみちひろ
積山道弘さん



プロフィール
高校を卒業後、広島みどり信用金庫へ就職し、三次支店長の時に退職。現在は、牛4頭の飼育と、2ヘクタールのコメづくりをする傍ら、地域マネージャーとして活動中。4世代同居の8人家族。口和町出身。

どんな取り組みをされていますか？
口和自治振興区のメイン事業の一つである「空き家活用事業」を担当しています。
まずは、地域マネージャーとしての自分の仕事を区民の皆さんに認知していただくため、民生委員や地域のリーダー、自治会長などへあいさつ回りをしました。そして、各自治会から教えていただいた空き家情報を基に現地を確認して回りました。所有者へ聞き取りも行い、空き家内部の状態がどうかなどを確認しました。自治会からいただいた情報はその時105件ありましたが、可能なところはすべて歩いて回り、話を聞きました。

苦労されたことは？
地域マネージャーとして、「定住促進」はもちろん「後継者の確保」「荒廃農地の保全」など口和地域が抱える大きな課題について取り組んでいるため、自分がどこまで出来るのかというプレッシャーを感じています。しかし、「口和地域へ若い家族連れを呼び込みたい！」という強い意志を持って取り組んでいます。
口和は何かと便利などところなんですよね。庄原や三次の市街地にも近しいし、気候も過ごしやすい。子育てには持つてこいの地域だと思います。
町内で「空き家」が年々増えていると実感しています。しかも、傷みがひどく半分以上が修繕をしないと住めない状態です。
調査に伺った方々は、皆さんとても協力的で「空き家をどうにかしたい」という思いを強く持たれていました。一方で、見知らぬ人に家を売る、貸すという不安感や、残された仏壇や荷物など、活用を難しくする材料も多く、現実には非常に厳しいということを実感しています。
そんな中、昨年の12月に福島県から一組の家族が移住してこられました。



口和自治振興センターで打ち合わせする積山さんと橋川豊事務局長

これからの目標は？
空き家に入ってもらおうということは、「地域」に入ってもらおうことです。お互いが安心して暮らしていけるためには、地域に溶け込めるかどうかが重要です。市と連携し、移住希望者と地域をつなぐためのサポートができるよう、活動を進めていきます。



山内自治振興区
三上 啓道さん

地域の主要事業の一つである、高齢者や障害者の孤独死防止などを目的とした見守り組織「おたがいさまネット」の普及・定着に取り組んでいる。



山内自治振興区
松田 一馬さん

竹パウダー堆肥を使って育てた山内ブランド米「里山の夢」の栽培研究から販路拡大まで取り組んでいる。小学生の農業体験や田んぼアートなどさまざまな活動を展開している。



上高自治振興区
香川 麻理さん

高野を愛する気持ちと、「市外から嫁いできた者」としての感覚で都会の方に「田舎暮らし提案」をするための情報収集と、高野の魅力の発信に取り組んでいる。

ご存知ですか？ 地域マネージャー

特集2

自治振興区では、集落の課題を把握し、機能の維持・活性化に向けた取り組みを行うため、区長が委嘱した「地域マネージャー」を中心に、さまざまな活動が展開されています。
今回は、地域マネージャーの取り組みをご紹介します。



峰田自治振興区
石滝 菊男さん

地域の自主防災に関することに取り組んでいる。本年度は居住者の名簿の整理や地域内の一人暮らしの方の居住状況が一目でわかるマップづくりなどに取り組む。



西城自治振興区
上西 みさきさん

75歳以上の高齢者のみ世帯を4カ月かけて訪問し、聞き取り調査を行った。調査で明らかになった課題を踏まえ「高齢者が安心して暮らせる地域づくり」を考えている。



八銚自治振興区
小谷 輝男さん

農業資源を活用した地域振興に取り組んでいる。本年度は、年間を通して収穫から販売まで長期に行える品目として、タマネギの試作に取り組んでいる。



口和自治振興区
積山 道弘さん

地域の重点課題である「空き家」の状況把握を行いながら、移住希望者が移住後にスムーズに地域へ溶け込めるよう、サポートを行っている。

仕掛け人その2 高齢者世帯を全戸訪問

西城自治振興区 地域マネージャー
うえにし
上西みどりさん



プロフィール
15歳まで西城町で育ち、高校から広島市内に住んで25年。その後、栃木県的那須へ移住し農業をしながら暮らす。3.11の東日本大震災を機に、昨年3月中旬に西城町へUターンした。自然農法による野菜作りを目指している。

どんな取り組みをされていますか？

西城自治振興区の4大プロジェクトのひとつ「やすらぎプロジェクト」を担当しています。高齢者世帯の方々が安心して暮らしていけるための支援を考えるため、まずは全域(14自治会)の75歳以上の一人または二人暮らしのお宅を200件訪問させていただき、実際に困っていることは何かを聞き取りして歩きました。

苦労されたことは？

西城自治振興区はとても広く谷も多いので、土地勘がない中での活動は大変でした。

とにかく雪が降る前に山間部を回るようにしました。必ず地域に詳しい方と2人で行動しましたが、迷子になったこともありました。おかげで、アンケートを送って回答してもらっただけではわからない、どんな不便さがあるのかも体感することができました。

活動してみてもどんなことを感じましたか？

まず、対象者を調べるために民生委員や自治会長にご協力いただきました。

訪問することについては、自治会長を通じて下話をしていただいたので、皆さん快く受け入れてくださいました。実際お話ししてみても、高齢者の皆さんは、話し相手を求めておられると強く感じました。お茶を出していただき、お土産をいただくこともありました。デイサービスやサロンへ参加されていない方もたくさんおられ、特に男性の方が多いです。困っていることを聞くだけではなく、この人は何が一番元気になれるのかを見つけてあげることが大事だと感じました。話していても、趣味の話題が一番盛り上がりやすいね。それを生かすことを考えるときは、皆さん目がキラキラしています。「買い物やレジャーに行く機会が無い」というお話をよく聞いたので、訪問



高齢者世帯を訪問し聞き取りする上西さん

者を対象とした温泉ツアーを企画しました。21人の参加があり大好評でした。

これからの目標は？

昨年12月末で聞き取り調査が終わったので、たくさんのご意見を基に、高齢者が安全安心に暮らせるためには何が必要なのかをプロジェクトで十分議論したうえで基礎づくりを行い、それから事業を進めていきたいと考えています。

庄原市地域マネージャー活用事業を利用してください！

市は、平成25年度に地域マネージャーを導入する自治振興区を募集しています。

事業内容

自治振興区が集落の課題を把握し、機能の維持・活性化に向けた取り組みを行うため、委嘱した地域マネージャーの人件費を交付金として交付します。総務省の集落支援員制度(※)を、活用しています。

地域マネージャーの役割

○自治振興区内の人や各種団体などの「つなぎ役」
○自治振興区が、集中的に取り組みたい活動の企画・段取り・相談・サポート・情報収集事務処理など
○集落の状況調査と点検

事業対象者

自治振興区

交付額

日額7300円(一人当たり)
2人までを限度とする。
○活動日数分を自治振興区へ交付する。

○勤務時間は1日概ね8時間程度。半日4時間程度の場合は3650円とする。

※集落支援員制度とは

地方自治体が、地域の実情に詳しい人材で、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材を「集落支援員」として委嘱。集落への「目配り」として集落の状況把握、集落点検の実施、住民と住民、住民と市町村の間での話し合いの促進などを行う。

詳しくは、自治振興課自治振興係
(☎0824-7311209)まで
お問い合わせください。



地域マネージャー間の連携と情報の共有化を図ることにより、活動が円滑に進められるよう、地域マネージャー・自治振興区事務局・市担当者が集まり、定期的に連絡会議を開催しています。



自治振興課 木村豊彦 課長

地域マネージャー制度を活用して 「地域の力」を高めてください！

今回ご紹介したように、各地域では地域マネージャー制度を活用して、さまざまなことに取り組まれています。自治振興区の皆さんが、自らの地域を自ら守り、育もうとされている姿です。

どの地域でも、少子化や高齢化、後継者の育成といった大きな課題は共通しています。しかし、地域の中で、自分たちにとって何が一番「関心があるのか」「困っているのか」をしっかりと議論していくと、それぞれテーマは違ってくると思います。目指すべきところは一緒でも、そこに向かって登る登山道は三者三様です。そのテーマに沿った取り組みを進めるためには、地域の実情を把握し、人間関係を構築できる人材が必要になります。

本制度は、課題の解決や夢の実現に向けた取り組みを進めていくために、そうした人材を地域マネージャーとして地域内から人選することができま

す。

ぜひお住まいの自治振興区でもこの制度を活用していただきたいと思います。